

S S K P

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



いずみ

No.
186

2017年9月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一七年八月三日発行(S S K P 通巻六六七号)



「昼休み、作業場の風景」(玉堤分場)

● 本年度の聖句

主は人の一歩一歩を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。
人は倒れても、打ち捨てられるのではない。
主がその手をとらえていてくださる。

(旧約聖書詩篇37編23-24節)



ヒアリがやって来る??

理事長 佐分利 正彦



我が家の庭に何種類かの草花を植えて花を咲かせることが、現在の私の楽しみの一つです。そうした花々の中には、香りによって、蝶や蜂をさそうものがあります。

七月の初めの頃、あまり見たことのない黒い蝶がやって来て、花の蜜を吸っていました。私は子供の頃は昆虫採集に興味があって、東京近郊で見かける蝶はだいたい見分けがつくのですが、明らかにあまり見たことのない黒いアゲハチョウの仲間でした。

インターネットで調べてみると、「ナガサキアゲハ」のオスであると判明しました。ナガサキアゲハには、他のアゲハチョウと違って『尾状突起』がないので、容易に判別ができるのです。この蝶はその名の通り、九州など暖地に生息する種ですが、ネットによると、2000年頃から関東地方でも繁殖が認められるようになり、気候温暖化の指標としても注目されているとのことでした。

温暖化との関連では、南米原産の『ヒアリ』が最近特に注目されています。思ったよりも高い頻度で、主として中国各地の港から、貨物運搬用のコンテナに紛れ込んで日本国内に運び込まれてきたようです。身体は小さいのですが、強い毒を持ち、また、攻撃性が高いとされています。

実は、私は一度ヒアリに噛まれたことがあるのです。約40年前にアメリカのテキサス州の大学町で一年余りくらしたことがあるのですが、着いて早々に借りていたアパートの近くで噛まれました。二、三匹に噛まれたのですが、一時間ほどして、妙に身体が熱く感じられ、息苦しくなりました。アリの噛まれただけでこのような症状になるとは予想していなかったので、強く印象に残ったのです。あれは『ヒアリ』に違いありません。

現在の日本の気候では、ヒアリは東北地方でも繁殖すると考えられています。ヒアリが日本に住み着くようになると確かに問題で、噛まれて死亡するケースも出ると思われます。気候温暖化とグローバルゼーションという人間の活動がもたらした影響は、思わぬ副産物をもたらすものだと感じました。

2016年度 決算報告

事業報告

科目	金額
事業活動による収支	
事業活動収入	748,102,746
事業活動支出	684,801,702
事業活動資金収支差額	63,301,044
施設整備等による収支	
施設整備等収入	2,354,000
施設整備等支出	159,624,789
施設整備等資金収支差額	△ 157,270,789
その他の活動による収支	
その他の活動収入	126,863,296
その他の活動支出	20,691,160
その他の活動資金収支差額	106,172,136
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	12,202,391
前期末支払資金残高	218,629,130
当期末支払資金残高	230,831,521

科目	金額
サービス活動増減	
サービス活動収益	743,213,698
サービス活動費用	709,315,327
サービス活動増減差額	33,898,371
サービス活動外増減	
サービス活動外収益	4,880,378
サービス活動外費用	941,909
サービス活動外増減差額	3,938,469
経常増減差額	37,836,840
特別増減	
特別収益	2,194,000
特別費用	995,524
特別増減差額	1,198,476
当期活動増減差額	39,035,316
繰越活動増減差額	
前期繰越活動増減差額	368,343,480
当期末繰越活動増減差額	407,378,796
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	124,317,066
その他の積立金積立額	16,300,000
次期繰越活動増減差額	515,395,862

科目	金額
資産の部	
流動資産	266,393,434
固定資産	1,251,979,747
基本財産	745,816,613
他の固定資産	506,163,134
資産の部合計	1,518,373,181
負債の部	
流動負債	63,754,163
固定負債	80,680,970
負債の部合計	144,435,133
純資産の部	
基本金	167,037,230
国庫補助金等特別積立金	468,425,874
その他の積立金	223,079,082
次期繰越活動増減差額	515,395,862
純資産の部合計	1,373,938,048
負債及び純資産の部合計	1,518,373,181

サービス活動増減の部	金額
収益	
就労支援事業収益	0
その他の事業収益	460,000
重度身体障害者 GH 事業収益	0
経常経費寄付金収入	1,272,210
サービス活動収益計(1)	1,732,210
費用	
人件費	4,276,228
事業費	17,582
事務費	9,003,466
減価償却費	308,325
サービス活動費用計(2)	13,605,601
サービス活動増減差額(3=1-2)	△ 11,873,391
サービス活動外増減の部	
収益	
借入金利息補助金収益	0
受取利息配当金収益	7,110
その他のサービス活動外収益	506,065
サービス活動外収益計(4)	513,175
費用	
その他のサービス活動外費用	1,543
サービス活動外費用計(5)	1,543
サービス活動外増減差額(6=4-5)	511,632
経常増減差額(7=3+6)	△ 11,361,759
特別増減の部	
収益	
施設整備等寄付金収益	1,300,000
拠点区分間繰入金収益	21,250,000
特別収益計(8)	22,550,000
費用	
資産評価損	0
特別費用計(9)	0
特別増減差額(10=8-9)	22,550,000
当期活動増減差額(11=7+10)	11,188,241
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	35,302,784
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	46,491,025
その他の積立金取崩額	0
施設運営費積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	10,300,000
施設整備積立金積立額	10,300,000
施設運営費積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	36,191,025

サービス活動増減の部	金額
収益	
就労支援事業収益	5,122,582
障害福祉サービス事業収益	182,389,754
自立支援給付費収益	2,550,571
補助金事業収益	1,027,460
受託事業収益	178,603,253
その他の事業収益	208,470
経常経費寄付金収入	10,000
その他の収益	129,360
サービス活動収益計(1)	187,651,696
費用	
人件費	130,578,136
事業費	20,791,916
事務費	40,376,492
就労支援事業費用	5,361,772
減価償却費	206,213
サービス活動費用計(2)	197,314,529
サービス活動増減差額(3=1-2)	△ 9,662,833
サービス活動外増減の部	
収益	
受取利息配当金収益	0
その他のサービス活動外収益	115,546
雑収益	115,546
サービス活動外収益計(4)	115,546
費用	
その他のサービス活動外費用	21,000
雑損失	21,000
サービス活動外費用計(5)	21,000
サービス活動外増減差額(6=4-5)	94,546
経常増減差額(7=3+6)	△ 9,568,287
特別増減の部	
収益	
施設整備等補助金収益	0
特別収益計(8)	0
費用	
固定資産売却損・処分損	0
拠点区分間繰入金費用	0
その他の特別損失	0
特別費用計(9)	0
特別増減差額(10=8-9)	0
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 9,568,287
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	37,197,257
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	27,628,970
次期繰越活動増減差額	27,628,970

サービス活動増減の部	金額
収益	
就労支援事業収益	5,122,582
障害福祉サービス事業収益	182,389,754
自立支援給付費収益	2,550,571
補助金事業収益	1,027,460
受託事業収益	178,603,253
その他の事業収益	208,470
経常経費寄付金収入	10,000
その他の収益	129,360
サービス活動収益計(1)	187,651,696
費用	
人件費	130,578,136
事業費	20,791,916
事務費	40,376,492
就労支援事業費用	5,361,772
減価償却費	206,213
サービス活動費用計(2)	197,314,529
サービス活動増減差額(3=1-2)	△ 9,662,833
サービス活動外増減の部	
収益	
受取利息配当金収益	0
その他のサービス活動外収益	115,546
雑収益	115,546
サービス活動外収益計(4)	115,546
費用	
その他のサービス活動外費用	21,000
雑損失	21,000
サービス活動外費用計(5)	21,000
サービス活動外増減差額(6=4-5)	94,546
経常増減差額(7=3+6)	△ 9,568,287
特別増減の部	
収益	
施設整備等補助金収益	0
特別収益計(8)	0
費用	
固定資産売却損・処分損	0
拠点区分間繰入金費用	0
その他の特別損失	0
特別費用計(9)	0
特別増減差額(10=8-9)	0
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 9,568,287
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	37,197,257
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	27,628,970
次期繰越活動増減差額	27,628,970

サービス活動増減の部	金額
収益	
就労支援事業収益	16,347,448
障害福祉サービス事業収益	367,123,889
自立支援給付費収益	263,651,315
利用者負担金収益	356,745
特定給付費収益	7,664,526
補定費用収益	27,822,863
その他の事業収益	67,628,440
経常経費寄付金収入	472,000
その他の収益	131,440
サービス活動収益計(1)	384,074,777
費用	
人件費	222,417,425
事業費	44,745,192
事務費	49,254,971
就労支援事業費用	17,419,744
減価償却費	42,015,623
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 22,957,148
サービス活動費用計(2)	352,895,807
サービス活動増減差額(3=1-2)	31,178,970
サービス活動外増減の部	
収益	
受取利息配当金収益	47,655
その他のサービス活動外収益	958,045
サービス活動外収益計(4)	1,005,600
費用	
支払利息	918,000
その他のサービス活動外費用	0
サービス活動外費用計(5)	918,000
サービス活動外増減差額(6=4-5)	2,328,057
経常増減差額(7=3+6)	26,583,682
特別増減の部	
収益	
施設整備等補助金収益	744,000
特別収益計(8)	744,000
費用	
資産評価損	0
固定資産売却損・処分損	101,520
国庫補助金等特別積立金取崩額(除去等)	0
国庫補助金等特別積立金積立額	744,000
拠点区分間繰入金費用	13,300,000
その他の特別損失	1
特別費用計(9)	14,145,521
特別増減差額(10=8-9)	△ 13,401,521
当期活動増減差額(11=7+10)	13,182,161
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	△ 11,237,007
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	1,945,154
その他の積立金積立額	6,000,000
次期繰越活動増減差額	△ 4,054,846

施設	定員	現員
泉の家		
利用人数		
生活介護	20名	21名
就労移行支援	6名	0名
就労継続B型	25名	24名
平均工賃		12,729円
日の出舎		
利用人数		
施設入所	45名	45名
生活介護	55名	49名
就労継続B型	20名	26名
平均工賃		29,933円
グループホームのぞみ		
利用人数		
ユニットのぞみ・いずみ	9名	6名
岡本ホーム		
利用人数		
生活介護	24名	27名
就労移行支援	6名	0名
就労継続B型	10名	11名
平均工賃		8,563円
玉堤分場		
利用人数		
就労移行支援	6名	3名
就労継続B型	13名	13名
平均工賃		15,882円

事業所目標では、利用者稼働率アップとボランティア受入れ300人を達成しました。

◎岡本福祉作業ホーム・玉堤分場
利用者支援の充実と地域生活の安定、働く職員がやりがいのある安心な環境づくりに取り組みました。施設付きのバス1台の導入により日中活動の広がりができるとともに、世田谷美術館での作品展や利用者ピアノコンサートなど、利用者の主体的な表現活動を展開できました。

◎相談支援センターおかもと
契約者数47件のサービス等利用計画が利用者ご本人・

◎グループホームのぞみ
法内化したユニットいずみは消防関連法等諸制度改正等の理由により本年3月一杯で閉鎖することとし、ユニットのぞみと統合することになりました。いずみの利用者はのぞみに入居しています。新たな生活ルールを利用者会で話し合い、活動の輪も広がってきています。

◎泉の家
利用者の安全な通所と交通安全の観点から、近隣交差点で朝夕毎日の見守り、月一回クリーン大作戦・緑美化を実施しました。

◎法人本部
①サービスの質の向上 緊急一斉通報システムの導入をしました。

②法人の組織強化 社会福祉法人制度改革に沿った見直しを行い、第4期泉会3か年計画を策定しました。

③法人の社会機能強化 上北沢福祉インフラ整備事業で「コインシアカみきた」の開設備をすすめました。

④人財育成、人事制度の再構築 要員計画に基づき新卒採用のモデルを作り、研修実施要綱を作成しました。

◎就労日の出舎
新棟の建設と通所ホーム改築転用により施設整備が完了しました。営業活動により年間を通じて安定受注が図られ、重度者の作業種を確保し、工賃月額も29900円と昨年比月約5800円の増額となりました。

◎相談日の出舎
5年目を迎え、利用者数は日の出エリア事業所や近隣施設利用者及び地域障がい者を合わせて108名となりました。ご本人やご家族等関係者からの期待も大きく、これまでと変わらず対応を丁寧に行うよう心がけています。

社会福祉法人泉会は、改正社会福祉法に適切に対応し、来年4月に予定されている「地域共生社会」をめざす障害者総合支援法の改正も視野に、施設整備計画や人財の確保と育成に取り組みました。人権尊重の事業展開のために法人の全事業所で虐待防止研修も継続しています。

◎日の出舎
生活介護事業定員を10名増員し、新たに4名の方が利用しています。2～3年で満床とする計画です。日中活動では岡本太郎美術館での作品展等が利用者の意欲向上につながりました。保健面では皮膚科訪問診療の実現で、例年1100件を超えていた通院を850件に削減できました。

◎家族の安心の生活に役立っているかについて、131件のモニタリング実施で確認しました。外部研修や砦エリア自立支援協議会運営会議への参加にも努めました。

2017年度法人新人研修

今年の新人研修は6月23日(木)と6月29日(金)の2回実施しました。参加者は泉の家4名、日の出舎5名、岡本ホーム3名、事務局1名の合計13名と例年よりも、新しい泉会の職員を迎え入れることができて感謝しております。

研修の目的である①「組織の一員であることの責任と自覚、社会福祉従事者としての基本的な姿勢を学ぶ」では、鈴木事務局長より、就業規則・諸規程・諸手続きの説明、沿革、組織の部門、業務内容、利用者支援ガイドラインの説明を行いました。佐分利理事長から経営理念、基本方針の説明があり、研修参加者は熱心に聞き、メモを取る姿がありました。佐分利理事長より「ルカによる福音書」から「隣人愛」について「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉の紹介がありまし

た。また鈴木事務局長からもマザーテレサの名言の中にある自分や他人の行動を分析する際に役立つ言葉の紹介があり、この言葉に感銘を受け、支援に役立つ大切な考え方としてとらえた参加者も多くいたようです。



佐分利理事長、鈴木事務局長より講義

研修目的②「職場内の基本動作、仕事としての基本知識、研修を通して

ての法人・職場の理解を深め、連帯感を持つ」では世田谷エリア3事業所、泉の家、岡本ホーム、玉堤分場の施設見学、日の出エリアの3事業所、グループホームのぞみ、就労日の出



泉の家作業風景



岡本ホーム作業風景



玉堤分場見学風景



日の出舎見学



GHのぞみ見学

舎、日の出舎の見学と、各事業所の所属課長より事業内容、活動の説明を行いました。参加者は熱心に説明を聞き、質問して他施設の活動内容を興味深く見学をしていました。泉の家(6/23)、岡本ホーム(6/29)で利用者と楽しい会話をしながら給食を摂りました。

研修レポートは①泉会の歴史や経営理念、理事長のお話から学んだこと②施設見学で気づいたこと③この研修で「明日から変わりそう」と感じたこと④来年、新任職員が入ってきたときに、自分が伝えたいこと⑤総括の報告といった視点から報告することになりました。レポートの内容をみますと参加者の一人一人が研修を通して、今後の支援への考え方や法人職員として働くことへの責任や意欲を伝えていて「感謝の心を忘れない」「チームワークを大切にす」等の言葉も多く、理解度の高さを感じました。

新人研修から戻ってきた新人職

員をどの事業所も温かく迎えています。「帰ってきてよかった」と思える温かい職場づくりや、やりがいを持って働けるよう環境整備に今後努めていきたいと思えます。

(有馬 恵子)



29日研修参加者



23日研修参加者

新人職員職員紹介

①生まれ変わったら、何になりたい？
②自分の好きなところは？
③ドラえもん道具をひとつもらえたら何が欲しい？

<p>泉の家 熊王支援員</p> <p>①太陽②行動力があると 思う③どこでもドア</p>	<p>日の出舎 影山支援員</p> <p>①人間(男性)②あんがい 歌がうまい③どこでも ドア</p>	<p>日の出舎 杉崎支援員</p> <p>①イケメン男子になって可 愛い彼女をつくる②ポジ ティブ、ねばり強い③どこ でもドア</p>	<p>日の出舎 森岡支援員</p> <p>①また自分に生まれ変わ りたい②誰とでも話がで きる③もしもボックス</p>	<p>日の出舎 小野事務員</p> <p>①鳥②あきらめないとい ろ③どこでもドア</p>	<p>日の出舎 川崎支援員</p> <p>①岩②努力できるところ ③どこでもドア</p>
---	---	---	---	---	--

<p>事務局 小川事務員</p> <p>①鳥(速いやつ)②マイペ ス③ホンヤクコンニャク</p>	<p>岡本ホーム 喜多支援員</p> <p>①犬②瞳の色③どこでも ドア</p>	<p>岡本ホーム 山田支援員</p> <p>①指揮者②相手の良いと ころを見つける・笑顔・色々 というけれどなんとかな るだろうと思うところ③ タイムマシン</p>	<p>岡本ホーム 須永支援員</p> <p>①ねこ②嫌なことも一晩 眠って忘れられるところ③どこ でもドア</p>	<p>泉の家 高橋支援員</p> <p>①人魚②メイクをしてな くてもバレないくらい顔が はつきりしているところ③ スマートフォン</p>	<p>泉の家 石橋事務員</p> <p>①鳥②二重③どこでもド ア</p>	<p>泉の家 松本支援員</p> <p>①動物(馬、イケメン男子 ②おだやかなところ③ど こでもドア</p>
--	--	--	---	---	---	--

日の出エリア、世田谷エリアと拠点が離れていますが、各事業所のつながりを大切に頑張っています。これからも皆様よろしくお願ひします。

泉の家だより

ワンちゃんのためのクッキー

入所施設から通所施設へと生まれ変わる泉の家を『地域の方に多く足を運んでいただける活動拠点にしたい』という保坂施設長の思いが、近隣で犬を散歩させる方にもお立ち寄りいただけるカフェを併設し、自主生産の犬用クッキーを販売する」という発案に繋がりました。実現に向けて試行錯誤を繰り返す利用者と職員は、こひつじ幼稚園の保護者ボランティアグループ「あすなる会」をはじめとする主婦の方々の協力を得ながら商品の開発に取り組みました。そして、現在も下請作業を受注している「ゼネラルステッカー」より商品ラベルのデザイン料と1000枚のラベルを無償提供していただき、開発期間約2年で商品化に漕ぎつけました。更に、納品先の動物病院の助言を受けて、アレルギーのある犬用の商品も開発しました。この度、商品を紹介する記事が毎日新聞に掲載され、

反響の大きさに驚いています。が、利用者や地域の方々から力を合わせて生み出した品質の高い商品で、丁寧な製法と徹底した衛生管理で守ってまいります。(石黒 玲奈)



「真剣な眼差しで心を込めます」

(右：山田さん、左：今井さん)

玉堤分場だより

就職活動

玉堤分場には将来、一般企業で働くことを目指している方もいらっしゃると思います。希望職種や得意な仕事を考えた上で、能力向上のために、分場の作業や独自のプログラムに励んでいます。ハローワークで求人を探し、履歴書や書類も作ります。できることはもちろん自分で進めますが、利用者ひとりひとりの状況に応じて、必要な支援を職員

が行っています。面接日が近づくと職員が面接官役を担って面接練習もしています。先日の模擬面接会では、他施設の職員さんに面接官役をしていただきました。練習とわかっていてもガチガチに緊張し、上手く答えられず、自信を失くされてしまったが、それでもめげずに、がんばっています。自分は何ができるのか、なぜ働こうとするのか、志望動機や自分の長所、そして障がいへの配慮として何が必要か、ともに毎日悩みながら、迷いながら、就職活動に勤しんでいます。(細田 隼矢)

目の出舎だより

自衛消防技術審査会に参加

2017年6月8日に秋川地区災害防止協会と秋川消防署の共催で行われた、「自衛消防技術審査会 消火器の部」に日の出舎の小林(指揮者)と小山(第一隊員)が参加させて頂きました。

練習時より、もちろん優勝ができるように頑張ってきました。一番苦労した点は、動きを合わせて駆け足をする事でした。

次々と他の隊の技術披露が終わっていききましたが、正直なところ、緊張で他の隊の演技を見ている余裕はありませんでした。ついに私たちの隊の番が回ってきました。一番に頭に浮かんだのは、日の出舎で、利用者の方々に自ら言い放った言葉でした。「優勝で勝利してきました。」そして披露が終わり、結果発表です。残念ながら、優勝とは程遠い順位でしたが頑張ったと思います。帰り道の風がやけ



「さあー、本番！」

に冷たかったのを今でもはっきり覚えています。また是非リベンジさせて頂きたいと思いました。(小林 郁也)

岡本福祉作業ホームだより

楽しかった日帰り旅行

5月12日金曜日、日帰り旅行で東京デイズニールランドへ行ってきました。今回、日帰りに参加された方が例年より多く、東京デイズニールランドの人気を改めて感じました。

当日は天候にも恵まれ、真夏のような日差しの中、グループで園内を回りました。事前にグループ内でミーティングをし、ショーの観覧を中心に行動するグループ、アトラクションに乗りたくないグループなど、それぞれメインとする行動を決めて当日を迎えました。行きたいレストランや買いたいお土産なども話し合ったため、時間を有効に使って回ることが出来ました。

アトラクションに乗るのはもちろん、園内を歩いているだけでも雰囲気味わえ、デイズニールの魔法にかかった一日でした。帰りの集合場所でも、お土産を見せ合ったり、キャラクターとグリーティングしたりと最後まで笑顔にあふれた日帰り



「キャラクターのサインももらいました!!」

旅行でした。限られた時間ではありましたが、みなさんとても楽しめたようで「次の旅行は、デイズニールに行きたい!」という声も多数寄せられました。来年度の日帰り旅行も楽しんでいただけるような企画を考えていきたいと思えます。(喜多 郁海)

グループホーム GHのぞみだより

念願の巨人戦観戦

GHのぞみといずみ統合し、4ヶ月になります。当初いずみからのぞみに来た女性利用者3名は、生活環境の変化に戸惑い、情緒不安定になることがありました。受け入れる男性利用者も、女性に合わせながらの生活になり、今までの生活が微妙に変化し始め、これもまた大変そうでした。

日々頑張っている6人を見ながら、何か楽しみを見つけてあげたいと職員間で何度も意見交換をしながら悩んでいたある日、女性利用者が「東京ドームに巨人を応援しに行きたい」



「感動の巨人戦」

「ずーっと夢だったの」と話してくれました。早速チケットの抽選に応募し、抽選が通ったため先月巨人VS中日の観戦に、東京ドームへ行ってきました。結果、巨人は逆転勝ちを収めたのですが、本人は7回で試合をあきらめ、グッズを購入し帰宅の途へついていたそうです。GHについてから逆転勝ちの事実を知り、悔やんでいたそうですが、担当職員に「楽しかった!のぞみに来てよかった!ありがとう!」と報告してくれました。新生グループホームのぞみは、利用者の多様な個性・可能性に対応し生きる喜びを大切にこれからも支援して行きます。(小林 正稔)



「練習でも面接は真剣に」



8年前、多忙ながらも好きな仕事に情熱を注ぐ日々を送っていた小平さんは脳出血に倒れました。現在、玉堤分場を利用して4年目となります。就職活動に取り組む心境について伺いました。

- Q**・自立とは何ですか？
A・自分で生計を立てる事
Q・障がいを負う前は、どんな職業でしたか？
A・TV番組制作業社で働いていた。業務内容は、企画をだし、ロケ撮影し、編集していた。
Q・なぜ、就職を目指されるのですか？
A・親、兄弟、友人を安心させたい。社会人として認めてもらいたい。

- Q**・当時、働いていてよかったことは何ですか？
A・色々な経験をさせていただいたこと。給料を多くもらっていたこと。
Q・現在は、どんな職種を目指されていますか？
A・障がいを持つ前に働いていた業界に戻りたいと思っている。
Q・今後の就職活動に向けての意気込みを教えてください。
A・結果を出すしかない。

玉堤分場では就労活動を行い、非正規雇用結びついた方は複数名いらっしゃいますが、平成24年以降、正規雇用へは結びついていないのが現状です。利用者の方は職員を信頼して、日々の活動に参加してください。一人でも多くの方が就職できるように、支援していきたいです。インタビューに答えてくださった小平さんも、目標を達成できるように頑張ってください。

(石黒 貴之)

2017年9月～12月各事業所の予定表

行事	販売会
9月 2日(土) 施設公開 Open the door (泉の家)・まるごとおかもと(岡本ホーム)	9月 2日(土) 玉川福祉フェスティバル(玉堤分場)
9月 9日(土)～9月15日(金) 西多摩療育支援センター作品展(日の出舎)	9月23日(土) こひつじまつり(泉の家)
10月 1日(日)～12月28日(木) 埼玉県子ども動物自然公園アートフェスタ(日の出舎)	10月21日(土) ぼんぼん祭り(岡本ホーム)
10月 7日(土)～10月30日(月) 国営武蔵丘陵森林公園アートフェスタ(日の出舎)	10月21日(土) 22日(日) 尾山台フェスティバル(玉堤分場)
11月10日(金) 日帰り旅行(泉の家)	10月25日(水) いきいき世田谷文化祭(岡本ホーム・泉の家)
11月29日(水) チェンパロコンサート(玉堤分場)	10月28日(土) みなみまつり(岡本ホーム・泉の家)
12月12日(火) 年納会(岡本)	11月 4日(土) 駒沢大学学園祭(泉の家)
12月16日(土) クリスマス会(日の出舎)	11月12日(日) ハーフマラソン販売会(泉の家)
12月下旬 クリスマス音楽会(泉の家)	11月28日(火) 障害者フェスタ(岡本ホーム)
	12月 3日(日) 区民ふれあいフェスタ(岡本ホーム・泉の家)

予定は変更する可能性があります。行事・販売会については各事業所にお問合せください。

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部 泉の家	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463 izumi@izumikai.jp	岡本福祉 作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp
日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205 info@hinodesha.org	相談支援センター おかもと	soudan-okamoto@izumikai.jp
グループホーム のぞみ	〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 ☎042(533)3608 ☎042(533)3609	玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433 tamatumi@izumikai.jp

編集後記

各事業所の想いが詰まった記事を取りまとめていると、泉会職員の利用者への愛情、仕事への情熱を感じます。気持ちを形に変えていけるよう機関紙を作っています。泉の家 水原

編集人 澤田 貴之
 発行所 障害者団体定期刊行物協会
 〒157-0072
 東京都世田谷区祖師谷3-1-17
 ヴェルドゥーラ祖師谷
 社会福祉法人 泉会
 頒布五十円